

令和7年度 兵庫県立伊丹西高等学校 学校評価

学校教育目標	重点目標
校訓「克己・協調・創造」の理念に基づき、自分に打ち勝つ強い心や他者に対する思いやりの心、目標に立ち向かうチャレンジ精神を養い、生涯にわたって生きがいのある人生を切り拓き、常に社会の発展に貢献できる人材を育成する。	①主体的対話的視点からの授業改善
	②信頼感を基盤とした生徒指導の充実
	③キャリア教育の推進
	④人権を尊重する教育の徹底
	⑤部活動の活性化
	⑥特色ある学校づくり
	⑦「開かれた学校」の推進
	⑧国際理解教育の推進

【生徒・保護者・教員・総合評価】	
A : 4.0~3.4	優れている
B : 3.3~2.4	おおむね良好
C : 2.3~1.0	要改善

※項目ごとに、「4」、「3」、「2」、「1」の4段階で評価しています。

領域	重点目標	担当	番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価		評価についてのコメント
					1年	R6	2年	R6	3年	R6	1年	R6	2年	R6	3年	R6	総合	R6			
学校経営	「開かれた学校」の推進	総務	1	生徒：校訓「克己・協調・創造」を意識して学校生活を送っていますか。 保護者：学校ホームページや学年通信などを通じて、本校の校訓を知る機会がありますか。 教職員：校訓を生徒や保護者に十分伝える事ができていると思いますか。	2.9	B	2.8	B	3.0	B	2.8	B	2.5	B	2.7	B	3.1	B	B	B	・入学説明会などで説明しているが、本校教育の根幹となるので引き続き生徒支援部や学年と協力して発信していきたいと思います。
		学年	2	生徒：あなたは楽しく学校に通っていますか。 保護者：お子様は、楽しく学校に通っておられますか。 教職員：生徒は、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	3.5	A	3.3	B	3.5	A	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B	B	B	・行事毎にアンケートなどでフィードバックを行い、より良い行事になるよう改善しながら取り組んだ。また、行事に限らず学校生活全般「自ら楽しむ」ことの大切さを集会や通信などで根気よく伝えた。アンケートや欠席状況、主観的に見た様子も含め、おおむね楽しんでた。(3年) ・概ね前向きに学校生活を送っているが、学習面や友人関係への不安などを抱えた生徒もあり、担任だけでなく、学年として生徒を支えた。(2年) ・生徒たちは満足いく学校生活を送っているように思われる。出欠の状況や、アンケート結果もみても概ね良好である。2年生に向けて自ら積極的に行動しその上で満足いく学校生活が送れるようサポートしていきたい。(1年)
		学年	3	学年集会*などを通じて、学校からの情報はよく伝えられていると思いますか。 *保護者・教職員：学年集会や学年保護者会	3.1	B	3.1	B	3.2	B	2.7	B	2.9	B	2.9	B	3.1	B	B	B	・連絡をしっかりと周知するために、日頃のSHRや終礼に合わせてTeamsも活用した。また、学年集会や保護者会の内容も学年通信に掲載し、保護者にもフィードバックできるようにした。(3年) ・学年集会では進路についての講演や学校生活や生き方について考えさせる内容を中心に行った。保護者会では多数の保護者が出席、学校への関心の強さを感じられた。(2年) ・Teamsを活用し日頃の連絡や情報の提供を行い、連絡を密に行った。保護者会も例年以上の参加があり関心の高さを感じた。しかし、学年の情報交換の場が多くなり、全体に周知していくことの難しさを感じた。(1年)
		総務	4	学校ホームページは見やすく充実していると思いますか。	2.9	B	3.0	B	3.0	B	2.8	B	2.8	B	2.8	B	3.1	B	B	B	・校内生徒・保護者向けには「ミマメルメ」で発信し、校外向け情報はHPでという切り分けをした運営ができた。HPの見やすさという点は改善の余地があり今後の検討事項と考える。
		学年	5	学年通信やPTA広報誌などを通して学校の様子が伝えられていると思いますか。	3.0	B	3.1	B	3.2	B	2.8	B	2.8	B	3.0	B	3.2	B	B	B	・行事、講演会、学年集会、保護者会などの内容は、フィードバックできるように学年通信に掲載した。(3年) ・学年の様子を学年通信で発信した。特に生徒の実際の声をできるだけ掲載している。(2年) ・毎月1回以上、No.15まで(1月現在)まで発行出来た。内容は、入学式から始まり学校行事や学年の様子を掲載し、できる限り、リアルタイムでの発行を心がけた。(1年)
		学年	6	日頃の電話連絡、三者面談や学年懇談会を通じて、保護者と学校のコミュニケーションはとれていると思いますか。	3.1	B	3.1	B	3.0	B	2.8	B	2.9	B	2.8	B	3.2	B	B	B	・受験もあったため、保護者との連携をとる機会が多かった。夏季の3者面談だけではなく、希望者は2学期末にも面談の機会を設けた。また、その後も家庭連絡だけではなく、来校していただき面談を行い保護者と連携した。(3年) ・常日頃から保護者への連絡を密にし、適宜三者面談を行った。(2年) ・保護者会、三者面談だけではなく、欠席・遅刻の確認や、生徒の様子を保護者とできる限り共有できるよう担任を中心に情報交換に動めた。(1年)
		総務	7	多くの生徒が活躍するなど、オープンハイスクールは充実していると思いますか。	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	B	2.9	B	2.8	B	3.5	A	A	A	・3回の実施で延べ1,627名(生徒897名・保護者731名)と本当に多くの方々にご参加いただきました。在校生が各会場で、緊張しながらも学校の様子や入試体験談を語るコーナーがあり、多くの参加者に評価いただいたと思います。次年度以降も継続的に実施したと考えています。

※項目ごとに、「4」、「3」、「2」、「1」の4段階で評価しています。

領域	重点目標	担当	番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価		評価についてのコメント							
					1年	R6	2年	R6	3年	R6	1年	R6	2年	R6	3年	R6	教員	R6	総合	R6								
教育課程	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	教務企画	8	授業はわかりやすいように工夫されていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.6	B	B	2.7	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	B	B	・ICT機器の活用が増え、生徒一人一人の学習状況を把握する時間が増えてきた。板書とICTのハイブリッド型の授業により理解しやすい工夫がなされていた。
		教務企画	9	授業のねらいや評価規準などが明確に示されていると思いますか。	3.0	B	B	3.2	B	B	3.2	B	B	2.6	B	B	2.6	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B	B	B	・年間指導計画の各教員間での共有ができており、年度始めに各授業における評価基準が示されていた、一方で保護者の方への周知ができていない面もあった。
		教務企画	10	授業や家庭学習の場面でタブレット端末（BYOD）を効果的に活用できていますか。	3.0	B	B	2.8	B	B	3.1	B	B	2.6	B	B	2.5	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B	B	B	・Teamsの会議やロイロノート、PowerPointを使用しながら授業を行なった。 ・Teamsやスタディサプリを使って課題を配信した。
教育課程	特色ある学校づくり	教務企画	11	様々な専門家や地域の方々など、学校は外部講師を積極的に活用していると思いますか。	3.1	B	B	2.9	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.6	B	B	2.9	B	B	B	B	・1年生では、外部講師を招いて文理選択に関する進路講演会を実施した。3年生では、大学教授を招いて探究活動に関するアドバイスをいただいた他、手話・茶道・華道の講師を招いて専門的な講座を開くことができた。
		教務企画	12	「総合的な探究の時間」は、目標を明確にし、発表を行うなど充実した内容だと思いますか。	3.1	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.8	B	A	2.6	B	B	B	B	・1年生では、進路調べを行い、オープンキャンパスや職業人インタビューについて発表を行った。3年生では、各自が行った探究活動の成果をゼミ内で発表し、特に優秀なものについては、学年全体に向けても発表を行った。
		教務企画	13	総合ヒューマン類型の特色ある取組は効果的だと思いますか。	3.3	B	B	3.0	B	B	3.2	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	2.6	B	B	3.2	B	B	B	B	・大学や地域の方など外部講師を招いて講座を実施した。（1年生5講座、2年生17講座）また、大学見学や模擬授業など校外学習（5大学）を実施した。
教育課程	キャリア教育の推進	キャリア支援	14	進路に関する適切な情報が、学校から提供されていると思いますか。	3.2	B	B	3.1	B	B	3.3	B	B	2.5	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	3.1	B	B	B	B	・各学年集会で学年キャリア支援担当から、各時期に必要な情報提供を行い、今意識し取り組んでおくべきことを伝えている。一方、キャリア支援部が作成している進路通信で情報を捕捉し、発行頻度を上げて保護者への発信もしていくことにより、家庭での情報共有をさせていただく必要がある。
		キャリア支援	15	学校は模擬試験等を継続的に実施し、事後の学習指導に生かしていると思いますか。	3.1	B	B	3.2	B	B	3.2	B	B	2.6	B	B	2.8	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	B	B	・1・2年生は年3回、3年生は年5回の学力テスト・模擬試験を実施している。各教科で事前指導を行ったり、受験後は各学年の弱点を把握したりしている。分析結果を教科内に留めておくのではなく、職員間で共有し、学年集会等で生徒に還元していくことも検討したい。また、弱点補強策が上手く機能し、成果が表れていることを生徒に実感させられるようにしていく方法を検討したい。
		キャリア支援	16	進路ガイダンスや就業体験（インターンシップ）などを通して、進路意識が高まっていると思いますか。	3.2	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B	B	B	・ガイダンスについては、職業人ガイダンス（1年7月）、国公立大学進路講演会（2年10月）、進路ガイダンス（1年12月）、看護・医療・栄養・福祉系ガイダンス（2年2月）、校外進路ガイダンス（2年2月）、進路講演会（1・2年3月）を実施している。インターンシップについては、全学年生徒を対象に、看護・保育、公務員、民間企業の希望者を募って実施している。今後は実施していることを保護者にも発信していくことを検討する必要がある。
		キャリア支援	17	生徒：将来の夢や目標を持っていますか。	2.9	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B														B	B

※項目ごとに、「4」、「3」、「2」、「1」の4段階で評価しています。

領域	重点目標	担当	番号	質問項目	生徒評価						保護者評価						教員評価		総合評価		評価についてのコメント											
					1年	R6	2年	R6	3年	R6	1年	R6	2年	R6	3年	R6	教員評価	R6	総合評価	R6												
教育環境	信頼感を基盤とした生徒支援の充実	生徒支援	18	生徒会活動やホームルーム活動など、生徒は主体的に活動していると思いますか。	3.0	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	B	B	・交通マナーや校内でのルールについて全体で共有するように心がけた。今後も継続していきたい。 ・学年集会、朝SHR/終礼などで共有すべき情報やマナー、ルールの意義についても学校全体として統一して生徒に発信することができた。				
			19	集会などを通して、学校や学年の生徒指導方針はよく説明されていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	3.1	B	B	B	B	・集会などで生徒が集まる際に分かりやすく説明できるように心がけた。				
			20	あいさつ・時間厳守・言葉遣い・服装など基本的な生活習慣は身につけていると思いますか。	3.3	B	A	3.3	B	B	3.2	B	B	3.0	B	B	3.1	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	B	B	・時差登校や登校指導は継続して行っている。また生徒会を中心に毎日のあいさつ運動なども積極的にしている。				
			21	自転車交通マナーやルールをよく守っていると思いますか。	3.3	B	B	3.3	B	B	3.3	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	3.0	B	B	2.7	B	B	B	B	・自転車事故の現状などを下駄箱前に掲示したり、全校集会などで共有を図った。また交通安全講話や校外安全指導などをPTA、伊丹警察、伊丹市役所などと連携して取り組んでいる。				
	部活動の活性化	生徒支援	22	部活動は生徒の自主的な活動を尊重したものになっていると思いますか。	3.2	B	B	3.2	B	B	3.3	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	3.2	B	B	2.9	B	B	B	B	・部活動は生徒主体に運営するよう心がけている。				
教育環境	人権を尊重する教育の徹底	生徒支援(保健)	23	悩み事を相談できる体制(保健室・親身になって聞いてくれる教員・スクールカウンセラーなど)が整っていると思いますか。	3.0	B	B	3.0	B	B	3.3	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B	3.1	B	B	B	B	・キャンパスカウンセラーの来校日を「保健だより」に掲載し、配布・掲示をすることで生徒や保護者への周知を図っている。加えてクラス担任から生徒に声をかけてもらい、生徒・保護者とキャンパスカウンセラーをつなぐように努めている。				
			24	人権に配慮したいじめのない学校づくりが進められていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.1	B	B	2.8	B	B	2.7	B	B	2.9	B	B	3.2	B	B	B	B	・学期に1回のいじめ等に関するアンケートの実施を行うなどしている。				
			25	花づくり委員会や生徒会活動、部活動、ボランティア活動など、地域との交流を通じて、思いやりの心は育っていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.9	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B	B	B	・10月に人権教育講演会を実施し、バラアスリートの方の講演を聞いた。ほぼ全ての生徒たちが高い関心を示し、様々な人たちが社会にいることに共感を持つことができた。				
			26	生徒：地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか。	2.9	B	B	2.9	B	B	3.3	B																	B	B	・地域や社会に興味関心がわくような取り組みを行ってきたい。	
			27	生徒：自分には良いところがあると思いますか。	2.9	B	B	2.9	B	B	3.2	B																		B	B	・日々の学校活動を通じて自分の良いところに気づいたり、また良さを伸ばせるような取り組みを行ってきたい。
			28	情報発信に伴う責任など、情報モラルの向上は図られていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.1	B	B	2.8	B	B	2.8	B	B	2.9	B	C	2.9	B	B	2.9	B	B	B	B	・講演会や授業等で取り扱っている。講演会では実際にスマホを操作しながら行い、身近な内容だったため、危機感をもつことができた。	
	校内環境整備	生徒支援(保健)	29	教室や廊下など、学校の敷地内は整理整頓され、清掃はよく行われていると思いますか。	3.0	B	B	2.7	B	B	3.0	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	3.1	B	B	2.9	B	B	2.9	B	B	B	B	・通常の放課後清掃に加え、各学期2回以上大掃除を実施し、校内美化に努めている。また3学期には環境委員会を中心にワックスがけを行っている。定期考査の最終日に行う部活動清掃により通常の清掃区域外にも美化活動を拡大させている。 ・課題としては廊下や階段等のほこり、北トイレのスリッパの整頓などがあげられる。	
	防災教育の充実	総務	30	避難訓練など非常時に対応した体制や訓練がよくなされていると思いますか。	3.1	B	B	3.1	B	B	3.2	B	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.8	B	B	3.2	B	B	3.2	B	B	B	B	・避難経路の確認及びシェイクアウト訓練を実施し2学期に避難訓練WEEKを設定し授業中に地震を想定した避難訓練を実施した。次年度においても継続的に実施していきたい。	
	国際理解教育の推進	総務(国際理解)	31	学校で行っている国際交流(台湾・アメリカ)に関する取組について知っていますか。	2.4	B	B	2.5	B	B	2.6	B	C	2.1	C	C	2.1	C	C	2.1	B	C	2.8	B	B	2.8	B	B	B	B	・台湾の高校生・中学生とのウェビニングやアメリカの高校生たちとのメッセージのやり取りを中心に国際交流を行っている。引き続き、交流の様子を集会や学校HP等で披露し、より多くの生徒の参加を促していきたい。	
	図書館の活性化	総務(図書)	32	図書館は本が充実し、生徒が読書や学習などで利用しやすいように整えられていると思いますか。	3.2	B	B	3.2	B	B	3.4	A	B	2.7	B	B	2.7	B	B	2.9	B	B	3.4	A	A	3.4	A	A	B	B	・学年が上がるにつれ、図書利用の頻度が上がっている。特に3年生は休み時間ごとに勉強に訪れる生徒も多く、「図書館＝勉強する場所」という雰囲気定着していると考えられる。反面、貸出冊数が年々低下してきており、図書館での学習環境をより整えるとともに、読書意欲の喚起に努めたい。	

【学校関係者評価】
 <専門部の取組について>□
 ・総合的な探究の時間以外の教科の授業における教科横断型の授業について、今後、どのような実践がなされるのが期待される。
 ・総合的な探究の時間においては、親世代が経験していない学びが進められている。他校の事例で、マーケティングについての授業があり、子どもは、友人と意見を交わしたり、専門家からアドバイスを、マーケティングへの興味関心が高まり、進路選択の幅が広がった。このように、学校の取組が大切であることを理解している。今後も子どもたちにとって魅力ある授業が増えることを期待する。
 ・探究活動においては、生成AIをどのように活用していくかが課題である。生成AIを使えばすぐに答えが引き出せる状況において、「問い」の質が問われるようになるのではないかと懸念している。生成AIをどのように活用し、生徒にとってどのような機会を作り出し、その実践が次へとつながっている。このようなスタイルを是非継続してほしい。
 ・スクール・カウンセラーの活用も、今後も進めてほしい。
 ・子どもは、中学校でのトライやるウィークを経験することができなかった学年であった。高校では、インターンシップに参加し、その体験を通して、働くことの意義を学んだ様子であった。働くことの大変さを理解した上でその職業につながる進路選択を子ども自身が選択することができた。高校でいろいろな経験をさせていきたい。□
 ・自転車マナーについては、事故があったら遅いものであり、引き続き指導をお願いしたい。
 □
 <各学年の取組について>
 ・「自主性」や「習慣化」は(大人でも)難しいことである。生徒の習慣化を促す日常のはたらきかけや工夫を行うために、まず、生徒の観察が必要ではないか。
 <全体を通して>
 ・学校行事、生徒会活動、授業など多面的・多角的に「特色ある学校づくり」が行われていると感じる。
 ・小学校との連携にも積極的に取り組んでいただいている。
 ・学校評価について、生徒のポイントが高いのは、先生方ががんばりが生徒に伝わっているのではないかと、また、生徒と比べて保護者のポイントが低いのは、学校への期待があるのではないかと。
 ・高齢者福祉施設とボランティア部との交流においては、生徒の皆さんは、高齢の方に対して丁寧に接することができおり、安心した。施設側として、今後もこのような取組を進めたい。そして、将来、就職という形で戻ってきてもらえることを期待する。
 ・子どもがボランティア部での活動を通して、地域の多世代の方々との交流など良い経験をさせていた。そして、子どもからその話を聞くことで、地域の様子を知ることができた。
 ・学校のボランティア活動について、地域住民の立場からも良く知っている。今後、地域もより一層高齢化が進んでいると思われる。「地域、学校、企業」また、「伊丹市と他市」と区切ることなく、生徒と地域の多世代の方々との交流が図られることを期待する。
 □
 ・学校評価における良さをどう広げていくかについて、関わっていただきたい地域の評価を取り入れ、積極的に発信していくことで生徒の自信にもつながるのではないかと。
 ・保護者の立場として、高校では意図的に情報を得ようとしなければ学校の情報が入ってこない。高校三年間、学校のことを知らないままで終わるようなことがないよう、保護者としても取組を考えていきたい。